

1 池田町に仕事をつくり、町民が安心していきいきと働ける

② I T ・ S N S を活用した特産品の情報発信

町内特産品生産者の収入増や雇用者増のためには、生産物の情報発信や販路開拓を図る必要がある。しかし、町内農産物などの生産者の多く（特に茶や米などの第一次産業）は、情報発信についてのノウハウがない。そのため、池田町の特産品を P R ・ 販売するウェブサイト構築することにより、インターネットユーザーに販路を拡大し、知名度や売上げの向上を目指す。

●実施内容

- 1) 町内特産品の調査・ヒアリング等を行い、それぞれの商品の販売意向を把握する。
- 2) 池田町の特産品を P R ・ 販売するウェブサイトを構築する。その際に、商品のパッケージデザイン・キャッチコピー等を検討し、付加価値の向上を目指す。

●K P I

- ・情報発信・販売ウェブサイトに掲載された商品数目標 平成28年3月 20品  
→ 参加意向調査の結果 14名 14品 (H28.2 現在)

●進捗状況

- ・プロジェクトは、アイデア工房参加住民より5名、町職員5名で構成した。
- ・ウェブサイトの構築及びサイト運営に関する指導業務を委託発注した。
- ・ウェブサイトは農産品販売を初めとして、町のHPにて説明会への参加募集を行った。また、認定農業者等を中心に町内農業者へ参加案内を発送した。
- ・1～2月、説明会ではヒアリング等を行い、農産品の販売意向を把握した。
- ・3月上旬、生産者への取材・写真撮影等を行っている。

●プロジェクトの特徴

一般的にインターネットショッピングの場合、初期費用としてシステム利用料等の費用がかかるが、今回は初期費用を町が負担する。それにより今まで手が出せなかった個人事業者や小規模な農業生産者でも出品が可能になる。

また、商品紹介ページ等も自分で作成する必要がないため、ページ作成に伴う費用、パソコン等の設備・技術がなくても出品できる。ウェブサイトでは、農産物等の特徴や生産者のこだわり、背景にある文化など、キャッチフレーズ等を使いながら魅力的に紹介する。また、商品のパッケージデザインや規格の統一性なども検討し、総合的な付加価値の向上を図る。

ウェブサイトの運営は、参加者で構成する販売組合を組織し行うものとして、ウェブサイト立ち上げ後、注文確認、商品発送、会計処理、お客様対応を担う。

立ち上げ後、1年間は無料でネット販売の専門家によるアドバイスも受けることができる。



特産品サイトへの参加者説明会

●今後の展開と課題

- ・販売体制の構築と販売、経費の配分の検討。
- ・H29以降、P R ・ 販売サイトの売上げにより管理運営費を賄う自走方式への移行。
- ・ウェブサイトに掲載する生産者や商品の追加、募集。
- ・収穫量が少ない産品等については、収穫に応じた販売方法の検討。